

第33回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

A.環境・生活様式

【HP 掲載No.A03】

発表No.	A03
タイトル	コロナウイルス流行前後の観光地における客層変化およびマナーの意識に関する基礎的調査 ～埼玉県長瀬町の事例～
所属・名前	ものづくり大学大学院 田尻 要 守家 和志 木村 奏太 松本 崇洸 葦塚 玲奈 中村 亮太 埼玉県長瀬町 緑川 圭介
キーワード	① 中山間地域の観光地 ② 観光意識 ③ 感染対策・マナー
<p>国内では2020年3月頃からの新型コロナウイルス感染症 Covid-19(以下コロナと略)による感染症の流行により、国民の生活様式に大きな変化を及ぼした。なかでも外出や旅行への行動の制限による観光地やそれに付随する飲食店や宿泊施設等への影響は計り知れない。コロナを通じて感染リスクを最小限に抑える新たな観光様式が広まる中で、来訪者が徹底した感染症対策を施し、観光満足や再来訪につなげるためには、観光事業者の対策のみならず、各来訪者による感染防止策が重要であり、これからの観光産業はコロナとの共存および来訪者と事業者の相互理解を図ることで成り立っていくと考える。</p> <p>そこで本調査では、埼玉県長瀬町において、コロナ流行前の客層と現在の客層を比較し、コロナの流行が観光産業にもたらしている影響とコロナ禍での観光マナーについて調査し、今後の観光産業の在り方について基礎的な分析を行った。</p>	